

令和6年度 全国学力学習状況調査 結果

4月18日、3年生を対象に全国学力学習状況調査が行われました。本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、以下の目的で実施されています。

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

今回、調査が行われた国語と数学についての本校の結果が判明しましたので、その概要についてお伝えいたします。

【国語】

全ての問題において、全国・群馬県の平均を大きく上回る高い正答率でした。本校の生徒が日々の授業に集中して取り組み、学習指導要領の内容をしっかりと身につけていると言える結果でした。観点別で見ますと、「知識及び技能」はもちろんですが、「思考力・判断力・表現力」が高い水準であることが強みであるといえます。

全国平均と比較して著しく正答率の高かった問題として、「要約」「文の成分の順序や照応」「自分の考えが伝わるような表現の工夫」などが挙げられます。日々の授業を通して着実に高められていることが分かります。また、特筆すべき点として、いずれの問題も無回答で済ませる生徒がほとんどおらず、難しい問題に対しても、最後まで粘り強く取り組む姿勢が身に付いていると言えます。そのことは、学習状況調査において、解答を文章で書く問題について「どのように解答しましたか」という質問に対し、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた生徒が97.5%であることから伺えます（全国・県の平均いずれも80%未満）。また、本調査の「解答時間が十分だった」と感じている生徒の割合も全国・県平均を上回っており、解答に必要な基礎学力が概ね身に付いていると考えられます。

そんな中、一番無回答が多かった（全体の1.7%）問題は、「短歌に詠まれている時間帯を並べかえる」というものでした。短歌の学習は古文とも関わっており、古文は後期課程に向けてより本格化していくものであります。今後の授業では、基礎基本を大切に、確実な知識を身に付けさせていく必要があると考えています。

【数学】

数と式、図形、関数、データの活用の4つの分野の全てにおいて、全国平均正答率を大きく上回る正解率となりました。特に、「説明する」「証明する」などの問題においては、全国平均正答率から30ポイント以上上回る結果となりました。本校での学習活動を通じて、自分の考えを筋道立てて表現する力が育まれていることが読み取れます。

学習状況調査からは「数学の勉強は好きである」の質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒は70%以上となりました。また、「数学の勉強は大切だと思いますか」の質問に対しては、全国平均正答率と比べて15ポイント程高い割合で「当てはまる」と答えています。数学の授業に対して意欲的に取り組みながら、数学の有用性についても前向きに取り組んでいる生徒が多いことがわかります。

一方で、与えられたデータから四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ問題の正答率のみ、全国平均正答率と同程度でした。復習しないと忘れてしまいがちな内容ですが、今後は機会を見て復習の時間を設けたり、数学の有用性をより一層感じさせることで内容を定着させたりすることで、これからの時代に求められる学力の伸長を目指していきたいと考えます。

【全体総括】

今年度の全国学力学習状況調査では、学力調査として、国語と数学の2教科が実施されました。どちらの教科も平均正答率について、全国や群馬県の値を20%以上上回る結果となりました。今後も日々の授業を通して、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」）を育む授業実践をしていきたいと思えます。

並行して行われた学習状況調査の結果について、全国や群馬県との平均値と比較した際の特徴的な内容をまとめます。「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている」の項目について、平均値より約10%上回る結果でした。これは日頃からご家庭でしっかりと生活リズムを整えてくださっていることが要因であり、大変ありがたい結果となりました。学習面については、「数学・理科が好きである」の項目で15～20%上回り、理数系の興味関心が高いこともわかりました。また、「総合的な学習の時間について」は、昨年度と同様、「自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表した」と回答した生徒が約30%上回りました。本校が取り組んでいる「みらい探究」の活動の成果がこの結果につながっていると考えられます。「授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」の項目で約10%上回り、様々な授業を通して学んだことを次の学習につなげ、自分できちんと整理する力が身につけている生徒が多いこともわかりました。

終わりに、「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒は平均値よりも約10%上回りました。この数値がさらに伸びるように、全職員が生徒一人ひとりに向き合い、充実した教育活動を実践していきたいと考えております。